

かごしま市

“知識”と“備え”で高まる防災力／

防災リーフレット

鹿児島市 危機管理局 危機管理課

☎:099-216-1213 FAX:099-226-0748

✉:kikikanri@city.kagoshima.lg.jp

令和7年度保存版

9～12面を取り外し、保存しておきましょう

いつ、どこで起きるか分からない災害。いざというときに適切な行動をとるには、正しい知識と日頃の備えが重要です。

「住んでいる場所の災害リスク」「避難が必要なタイミング」「避難する場所」「家に備えておくもの」などを、家族構成などに応じてあらかじめ把握しておきましょう。

災害への備えは“知る”から始まる ▶避難情報や気象情報などの入手方法◀

まずは、正しい情報を知ることから。日頃から主な防災情報の入手方法を把握しておきましょう。

テレビ・ラジオ

テレビのリモコンの「d」ボタンを押すと「データ放送」の画面になり、気象情報をはじめ河川水位などの情報を確認できます。

鹿児島市LINE公式アカウント

事前登録

事前登録することで、避難指示や避難所の開設などの緊急情報を受け取れます。

気象庁ホームページ キキクル(危険度分布)

土砂災害

土砂や洪水など雨による災害の危険度が地図上に5段階で色分けされ、リアルタイムで確認できます。

鹿児島市ホームページ

避難情報や避難所の開設情報、防災行政無線の放送内容などの緊急情報を確認できます。

安心ネットワーク119

事前登録

メールで災害情報や避難情報、避難所の開設情報などが受け取れます。

民間事業者などによる防災情報通知サービス

登録した地域に発表された気象情報などがプッシュ通知されるサービスを活用し、いざというときの避難の判断などに活かしましょう。
・防災アプリなどのインストール(Yahoo!防災速報など)
・Kago Tips など

防災行政無線自動電話案内サービス

災害発生時などに防災行政無線で放送した内容を電話で確認することができます(通話料は利用者負担)。
☎099-222-7222

防災行政無線FAX配信サービス

事前登録

防災行政無線で放送した内容をファクスで受け取れます。
◇事前登録はファクスかメールで「住所、氏名(ふりがな)、電話番号、ファクス番号」を危機管理課にお送りください

ハザードマップで身近な場所の災害リスクを確認 ▶ハザードマップの見方◀

「かごしまiマップ」や「防災ガイドマップ」で、自宅や避難経路などにどのようなリスクがあるか、確認しておきましょう。



危険度を色分けして表示しています。

かごしまiマップ

市全域の洪水浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域、指定緊急避難場所などの最新情報を確認できます。

かごしまiマップ 🔍 検索

鹿児島市 防災ガイドマップ

～完備に、あなたのご自宅は「安全」ですか？～

令和3年6月配布。冊からダウンロード可

※ハザードマップは、あくまでも特定の想定に基づく被害予測です。想定を上回る被害になる危険性が常にあることを理解しましょう。

避難のタイミングを逃さない ▶避難情報のポイント◀

警戒レベル	状 況	気象情報(気象庁)	鹿児島市が発令する避難情報など
5	災害発生又は切迫	大雨特別警報等	緊急安全確保 【命の危険 直ちに安全確保！】 命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保しましょう。 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 緊急安全確保の発令を待ってはけません！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～			
4	災害のおそれ高い	土砂災害警戒情報等	避難指示 【危険な場所から全員避難】 危険な場所から全員避難しましょう。
3	災害のおそれあり	大雨警報 洪水警報等	高齢者等避難 【危険な場所から高齢者等は避難】 ・高齢者等は危険な場所から全員避難しましょう。 ・高齢者以外の人も外出を控えたり、避難の準備をしたりして、自主的に早めの避難をしましょう。
2	気象状況悪化	大雨注意報 洪水注意報等	自らの避難行動を確認 防災ガイドマップで自宅などの災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミングを再確認するなど、避難に備え自らの避難行動を確認しましょう。
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報	災害への心構えを高める 最新の気象情報に注意するなど、災害への心構えを高めましょう。

災害が発生または発生するおそれがあるとき、市は気象情報などを基に避難指示などを発令し、避難が必要なタイミングをお伝えします。各段階で取るべき行動を確認しておきましょう。

※令和7年6月から、より早く発令内容をお知らせできるよう、防災行政無線のサイレンを短くしました。3秒間のサイレンを1～3回繰り返します。

自宅・職場・学校など、今いる場所が安全なときは避難する必要はありません。